

産業建設常任委員会 行政視察報告

5月21日（火）愛知県岡崎市
人口383,141人 面積387.2km²

視察内容

道路維持管理支援サービス
について



5月22日（水）兵庫県宍粟市
人口34,981人 面積658.54km²

視察内容

学校給食への地産地消
推進活動について



5月23日（木）兵庫県伊丹市
人口200,641人 面積25.0km²

視察内容

住宅耐震化促進事業
について



※霧島市人口123,179人 面積603.17km²
※各市の人口は令和6年4月1日現在の住民基本台帳人口

令和5年度 政務活動費執行状況

(令和5年4月～令和6年3月)

議員が調査研究その他の活動を行うために経費の一部として、会派又は議員に対して、議員一人当たり月額3万円が交付されています。霧島市議会政務活動費の交付に関する条例や規則により、適正に取り扱っています。

会派名	公明党 霧島市議団	日本共産党 霧島市議団	霧島市政クラブ	市議会	若獅子会	いっしん会	無党派	無党派	無党派	無党派	無党派	無党派
所属議員	鈴木 てるみ 久保 史睦 有村 隆志	宮内 博 前川原 正人	木野田 誠 宮田 竜二 川窪 幸治 藤田 直仁 徳田 修和 阿多 己清 (*注1) 阿多 己清 (*注2)	下深迫 孝二 前島 広紀	今吉 直樹 松下 太葵 堀井川 公子 久木田 大和 (*注3)	山口 仁美 野村 和人 竹下 智行 幸一 綱雄 前田 池田 飯屋 国治 (*注4)	植山 太介	松枝 正浩	阿多 己清 (*注2)	久木田 大和 (*注3)	徳田 修和 (*注1)	飯屋 国治 (*注4)
交付額	1,080,000	720,000	1,770,000	720,000	1,320,000	2,070,000	360,000	360,000	270,000	120,000	120,000	90,000
自己負担額								215		19,846	60,374	
支出合計	371,150	443,224	1,458,130	333,562	571,824	1,769,247	293,955	360,215	121,942	139,846	180,374	72,070
内訳	調査研究費	900	474,976	283,812			139,846			139,846	139,846	
	研修費	216,594	4,000	781,267		260,830	1,328,084	2,000	226,320	85,760	40,528	58,920
	広報費		123,225			344		99,000				
	広聴費						344					
	要請陳情活動費											
	議会費											
	資料作成費											
資料購入費	152,613	163,805	145,431	30,060	65,553	198,149	53,109	129,466	8,370		10,754	
人件費												
事務所費	1,943	151,294	56,456	19,690	245,097	242,670		4,429	27,812		2,396	
返納額	708,850	276,776	311,870	386,438	748,176	300,753	66,045	0	148,058	0	0	17,930
執行率	34.37%	61.56%	82.38%	46.33%	43.32%	85.47%	81.65%	100.00%	45.16%	100.00%	100.00%	80.08%

*注1 令和5年12月1日付けで会派から脱会したため、会派に8月分（4月～11月）、個人に4月分（12月～3月）の交付
*注2 令和5年12月4日付けで会派に加入したため、個人に9月分（4月～12月）、会派に3月分（1月～3月）の交付
*注3 令和5年11月30日付けで会派から脱会したため、会派に8月分（4月～11月）、個人に4月分（12月～3月）の交付
*注4 令和5年12月4日付けで会派から脱会したため、会派に9月分（4月～12月）、個人に3月分（1月～3月）の交付

総務環境常任委員会

総務環境
常任委員会

◎今吉 直樹 ○久木田大和 植山 太介 竹下 智行 川窪 幸治 鈴木 てるみ
阿多 己清 飯屋 国治 前川原 正人 ◎委員長 ○副委員長

ここに注目!

総務環境常任委員会では、6件の議案を審査しました。

消防ポンプ自動車等5台と救急自動車1台を取得、消防設備充実へ

高規格救急自動車1台の購入費3,096万8,300円は、令和5年度にあった寄付金が財源

消防局北消防署北署および中央消防署福山分遣所に消防ポンプ自動車を、中央消防署溝辺分遣所に水槽付消防ポンプ自動車を、中央消防署中央署に高規格救急自動車を、消防団隼人方面隊日当山第二分団姫城部および溝辺方面隊中央分団に消防ポンプ自動車をそれぞれ配備しようとするもの。

全会一致で可決すべきものと決定しました



川窪 幸治 議員

Q 車両の更新基準はどうか。

A 消防ポンプ車は13年経過したものを、高規格救急自動車は走行距離15万キロ以上のものを、消防団車両は、22年から23年を迎える車両を更新している。



植山 太介 議員

Q 不要となった消防車両を販売して、市の収入にすることはできないのか。

A 現在は悪用防止の観点から、不要となった消防車両は鉄クズとして処分し、その収入が入っている。

産業建設常任委員会

産業建設
常任委員会

◎前田 幸一 ○宮内 博 松下 太葵 久保 史睦 徳田 修和 木野田 誠
池田 綱雄 下深迫 孝二 ◎委員長 ○副委員長

産業建設常任委員会では2件の議案を審査しました。

ここに注目! 市道路線の認定について

生活道路として利用されている里道5路線、宅地開発により寄附された道路8路線及び道路の位置を特定する2路線の合計15路線を市道認定

全会一致で可決すべきものと決定しました



木野田 誠 議員

Q 市道に認定するための経費はいくらかかるのか。

A 認定には道路台帳整備が必要となり、そのための測量の金額は、去年の実績から算出すると1km当たり48万円であった。

